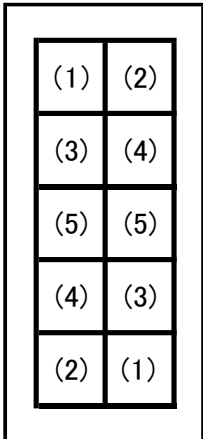


2020年7月1日  
日本郵便株式会社

## 特殊切手「国勢調査 100 年」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、1920（大正 9）年の第 1 回国勢調査から 100 年の節目を迎えることを記念して、特殊切手「国勢調査 100 年」を発行します。

### 1 発行する郵便切手の内容

名 称	国勢調査 100 年	
発 行 日	2020 年 9 月 1 日（火）	
種 類	84 円郵便切手	
切 手 画 像	別紙のとおり	
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠		<p>(1) 棒グラフのイメージと大正時代の人々                  (2) 棒グラフのイメージと現代の人々                  (3) 昔の計数機装置                  (4) スマートフォンによる国勢調査への回答                  (5) 国勢院と杉亨二、大隈重信、原敬</p>
売 価	1 シート 840 円	
小切・印面寸法	縦 36.5 mm×横 28.0 mm	
シ ー ト 寸 法	縦 222.5 mm×横 93.5 mm	
切手デザイン	楠田 祐士（切手デザイナー）	
版 式 刷 色	オフセット 6 色	
発 行 枚 数	500 万枚（50 万シート）	
販 売 場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の郵便局など</li> <li>・「郵便局のネットショップ」<sup>(注)</sup></li> <li>・銀座郵便局での郵便振替による通信販売</li> </ul>	

### 2 発行する郵便切手のデザインについて

総務省は、令和に入って初めての国勢調査を 2020（令和 2）年 10 月 1 日現在で実施します。日本の「いま」を知り、「未来」をつくる上で、とても大切な統計調査です。

(1) 棒グラフのイメージと大正時代の人々・(2) 棒グラフのイメージと現代の人々

棒グラフのイメージと第 1 回国勢調査が始まった大正時代の人々および現在の人々をデザインしています。

(3) 昔の計数機装置・(4) スマートフォンによる国勢調査への回答

調査票の内容を符号化し、穿孔機<sup>せんこう</sup>で穴を開けたカードを、計数機で数えて集計を行っていた昔の国勢調査と、情報通信技術が進展しスマートフォンでいつでも簡単に回答することができる現在の国勢調査をデザインしています。

(5) 国勢院と杉亨二、大隈重信、原敬

国勢調査の実施に貢献した3名の統計の偉人である杉亨二、大隈重信および原敬と国勢院の建物をデザインしています。

杉 亨二…「日本近代統計の祖」と称され、国勢調査の実施に人生を懸けました。

大隈重信…第8代および第17代の内閣総理大臣で、国勢という言葉を用いて統計の重要性を訴えました。

原 敬…内閣総理大臣として国勢院を設置し、第1回国勢調査を実施しました。

3 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注)「郵便局のネットショップ」への掲載は、2020年9月1日(火)の予定です。

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-2328-86 (フリーコール)

携帯電話から 0570-046-666 (有料)

<受付時間 平日 8:00~21:00

土・日・休日 9:00~21:00>